

授業科目 地域看護活動論Ⅰ

【担当教員名】 宇田 優子、島貫 秀樹		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 各ライフステージ別、健康課題別の特徴をとらえた健康およびQOLの改善・維持・向上を目指した地域保健活動の内容を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 地域で生活している人々のQOL向上を目指した健康支援活動の展開方法を理解する。 2. ライフステージ別のヘルスケアシステムについて理解する。 3. 健康課題別のヘルスケアシステムについて理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	地域における健康支援活動の展開方法			1	講義
2	高齢者保健活動（1）			1～3	講義
3	高齢者保健活動（2）			1～3	講義
4	成人保健活動			1～3	講義
5	感染症保健活動（1）			1～3	講義
6	感染症保健活動（2）			1～3	講義
7	難病・障害者（精神含む）保健活動			1～3	講義
8	母子・歯科保健活動 * 母子保健活動は、1年次「地域看護学概論」で既習			1～3	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		三訂地域看護学	津村智恵子	中央法規	1年次に購入したものを使用する
		国民衛生の動向	厚生統計協会	厚生統計協会	2010・2,400円・1年次に購入したものを使用する
		新版 保健師業務要覧 第2版		日本看護協会出版会	2008・5,040円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況および学習態度（20%） 筆記試験、ミテスト、レポート（80%）			【履修上の留意点】 授業中にミテストを実施する場合がある。 能動的に講義を受講し、質問や意見などの発言を積極的に行うなどの主体的な学習態度を望む		